

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・身体拘束ゼロへ向けてのケアの実践	転倒予防の為、センサーを設置している利用者が4名いる。(内1名ほぼ全盲)安全面を考慮し職員の見守りと利用者の生活パターンを把握していく。	定例のミーティングや身体拘束ゼロ委員会での検討を行い、全スタッフが情報を共有出来るようにする。 (センサー設置の時間の検討やスタッフの見守り体制の強化等)	6ヶ月
2	28	・チームでつくる介護計画とモニタリング	利用者2名を1名のスタッフが担当している。情報収集は担当者に任せきりの部分もあり不十分な所もある。今後はスタッフ全員で利用者全員を担当するつもりで情報収集等をおこなっていく。	利用者の思いや希望等を日常生活の中や面会に見えた家族から聞き出し情報を記録に残す。また、家族の希望やDrの意見等も計画に反映して、利用者も含めた関係者で情報の共有を図っていく。	12ヶ月
3	22	・馴染みの人や場との関係継続の支援	外出等の支援は行っているが、個別の馴染みの場への外出頻度は少ない。今後は、可能な限り馴染みの場・人との関係が継続出来るように家族とともに支援していく。	日常生活の中や面会に見えた家族から、把握している情報以外に漏れていたり逃している情報がないか、再確認を行い収集した情報が、スタッフ全員で共有出来るようにして今後の支援につなげていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。